



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和4年5月23日(月) 第5号

みんなでのびる

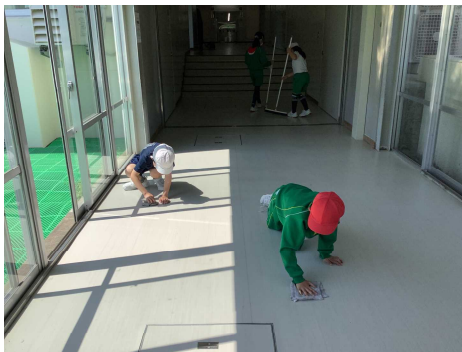
☆高め合う子

☆助け合う子

☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

子どもたちの心の成長について



道徳教育は、道徳科の指導を中心に学校の教育活動全体を通して行います。もちろん子どもたちの心を育てるためです。

特別活動(学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事)は、実践的な活動を通して社会生活に生きて働く汎用的な力を育てます。

心を育てる道徳科と実践を通して学ぶ特別活動とを関連させて指導することにより自己の生き方についての考えが深まります。

私たち大人は、道徳的な心情をもち、道徳的な判断をして、道徳的な実践をしています。それは、大人になるまでに何度も道徳的な判断が必要な場面に出会い、そこから道徳的な実践につなげていった経験があるからです。善悪の判断、正直・誠実な生活、感謝・礼儀、勤労・奉仕、自然愛護等々です。また、仕事や人間関係などで納得いかないことがあっても折り合いをつけることも多かったのではないのでしょうか。そのような経験が自然と心の成長につながっていきま

した。
さて、特別活動の学級活動では、折り合いをつける場面が多くあります。話し合いでは自分の思いだけを通して学級の問題は解決しませんし、学級で決まったことは、自分の意見とは異なってもみんなで協力して実行していかなければなりません。学校は社会の縮図のようなもので、このような一つ一つの経験が子どもたちの心の成長に大きくつながっていきます。

私たち教職員は、子どもの心の成長にかかわる全てのことにしっかりと関わり指導していきます。

学校は、「徳を育てるところ」です。

川俣町交通安全町民大会

49回 川俣町交通安全



49回 川俣町交通安全



49回 川俣町交通安全



14日(土)に川俣町交通安全町民大会があり、家庭の交通安全推進員作文コンクールで3人が表彰を受けました。

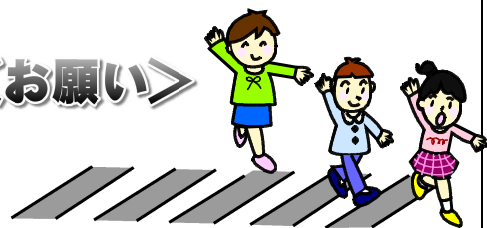
最優秀賞：〇〇〇〇さん

優秀賞：〇〇〇〇さん

優秀賞：〇〇〇〇さん

3人とも実体験からくる交通安全への思いを文章に載せ発表できました。大勢の人の前でさぞ緊張したことと思います。このような体験が子どもたちの心の成長に大きくかかわります。

<お願い>



子どもたちの登下校の様子を見ると、「歩道だから安心」「信号が青だから大丈夫」「歩行者がいればどこでも車は止まってくれる」などと思い込みで行動している場合が多いようです。

学校では、歩行の仕方、横断歩道の渡り方等具体的に指導しています。危険を予想した行動ができ、自分の命を自分で守れるようこれからも指導していきます。ご家庭でも登下校の歩行の仕方について、十分注意するよう声をかけてください。

よろしくお願いいたします。